

Dr.'s REPORT

RF SYSTEM lab.

ドクターズ・レポート | 「デジゲンNAOMI」をお使いのドクターによる
製品やサービスに関する生レポートです。

結論から言えば、期待以上の装置。

当院では将来の電子カルテ化に備え、院内データの一元管理を目指していた。すでに導入していた泌尿器科手術用透視装置が、DICOM対応で問題なくサーバーと接続可能であったため、10年以上使用していたX線装置は撤去するつもりでいた。ところが、その透視装置で胸部を撮影するとうまくいかず、古いX線装置を撤去するわけにはいかなくなってしまった。かといって、胸部写真のためだけにフィルムを現像しなければならぬのか? と悩んだ。

そんなとき、内科医である弟が、以前「デジゲン」という装置を雑誌で見たことがあると言い出した。「デジゲン?」聞き慣れない名前だが調べてみると、アールエフのWEBページにヒットした。内容を見てこれは面白いと直感。すぐ会社にコンタクトをとって、福岡店からデモに来てもらった。結論から言えば、期待以上の装置であった。何しろ昔から使っているX線装置のまま、いきなり画像がデジタル化されるのだから。操作も通常のパソコンと同じで簡単だし、画質もフィルムとは比べものにならないほど素晴らしい。院長である父も「これはすごい」とすっかり感心していた。しかも他社と比較しても圧倒的な低価格というのが魅力となり、その日のうちに導入を決めた。

ひとりでも、短時間で撮影から診断までが可能に。

デジタル化のメリットは、従来のようなカセットのセットアップや現像の手間から解放されることである。しかも、フィルムや現像液などの消耗品が一切発生せず、必要な画像だけドライイメージャーで出力できるため経済的である。NAOMIは、撮影から患者様への説明まで1分もかからず、X線被ばく量も少なく済むのが嬉しい。当院では、NAOMIを導入したことで、スタッフの仕事量も減らすことができた。現像機の立ち上げや準備に時間がかからず、急患にもあわてる必要がない。現在ではひとりでも、短時間の内に撮影から診断までが可能になった。

カスタマー本位の姿勢に感心。

営業スタッフの製品に対する知識は豊富で、トラブルへの対応も迅速である。また、「こういうことができれば便利なのに」と話すと「さっそく本社に報告して対応します」といわれた。こうしたカスタマー本位の姿勢は、大手企業では決して真似できない。NAOMIは旧式のX線装置をすぐにデジタルにかえてしまう素晴らしい装置である。

今月のレポート医院

飯田泌尿器科医院

(福岡県大牟田市)



X線装置の買いかえを考えている先生へ。

もし、古いX線装置の買いかえを考えている先生がおられたら、是非NAOMIの購入を一度検討してみてはと思う。大病院ならともかく、開業医では設備投資には慎重にならざるを得ないし、NAOMIを導入することで高価なX線装置を購入するよりも、はるかに低コストでデジタル化ができるわけだから。余った予算は、サーバーや他の医療機器への投資にまわしたほうがはるかに賢い選択だと思う。

2008
3
vol.12

被ばく量が 少なくて済むのが嬉しい。